

これからのお施設等のあり方

に関する市民意見募集

概要版

皆さんのご意見をお寄せください!

「町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」及び
「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」
改定の方向性について



みんなの施設

いろんな人が
集まっている
ことができる

集まりたくなる
温かさ・魅力

柔軟な
サービス

身近な場所

サービスを受けたり
自分も提供したり



町田市では、「町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」及び「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」に基づき、公共施設等マネジメントの取組を推し進めています。

一方、現計画策定後、急激な物価高騰等の社会・経済情勢の変化や、コロナ禍を契機としたライフスタイル等の変化など、様々な変化が生じ、これまで以上に見通しが難しい状況となっています。

このような変化等を踏まえ、目指す姿や、その実現に向けた基本方針等を見直すとともに、2027年度以降の具体的な取組を定めるため、2027年3月に両計画を改定します。

この度、計画改定の方向性(目指す姿、基本方針等)が取りまとまりましたので、その内容をお知らせするとともに、広く市民の皆さまのご意見を伺うため、市民意見募集を実施します。

改定にあたり参考とさせていただきたく、ぜひ皆さまのご意見をお寄せください。



詳細は[こちら](#)▲

意見募集期間 **2025年12月12日(金)～2026年1月16日(金)** 必着

意見提出方法

- 窓口(市庁舎4階企画政策課)
- メール(mcity2980@city.machida.tokyo.jp)
- FAX(050-3085-3082)
- ウェブフォーム

留意事項

- 書式は自由です(本意見募集へのご意見である旨は要明記)。
- 電話・窓口での口頭によるご意見はお受けできません。
※ 上記方法での提出が困難な場合は、下記問い合わせ先までご相談ください。
- 公序良俗に反するもの、特定の団体・個人等に対する誹謗中傷が含まれるものには無効とします。
- ご意見要旨及び市の考え方は、市HPにて2026年3月に公表予定です。



問い合わせ先

町田市 政策経営部 企画政策課 公共施設再編担当 042-724-2103

1 前 提

1970
年代
前後

高度経済成長期 の中、
急激な 人口増加 ↗

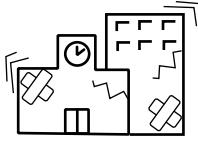
学校 をはじめとした
多くの公共施設等 を整備



これから

厳しい財政状況 の中、
人口減少 局面へ ↘

多くの公共施設等の 老朽化
が進み 更新時期 が到来



公共施設等の
維持管理・更新費用 が 増大



今ある 全ての公共施設等
をそのまま 維持 して
いくことは できない



A I、I C T、ロボットなど目覚ましい
テクノロジーの進化

民間事業者、N P O、地域団体など、

多様な主体
との連携 が進展



手続きのデジタル化、民間ノウハウの活用
などにより、より 便利 で 質の高い
サービス、より 効率的 なサービスの提供
が実現可能に

町田市では、公共施設等の更新時期にあわせた再編を

新たな価値創出 の チャンス と捉え、

単に施設を減らし コストダウン を図るだけではなく、

これまでの 価値 や 資源 、 想い を継承しながらも、

時代に適応 した将来につながるかたちへ

変えていきます。



町田市では、公共施設・公共空間のより良いかたちを目指し、

「町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」・

「みんなで描こう より良いかたち町田市公共施設再編計画」

に基づき、公共施設等の総合的かつ計画的な管理や、

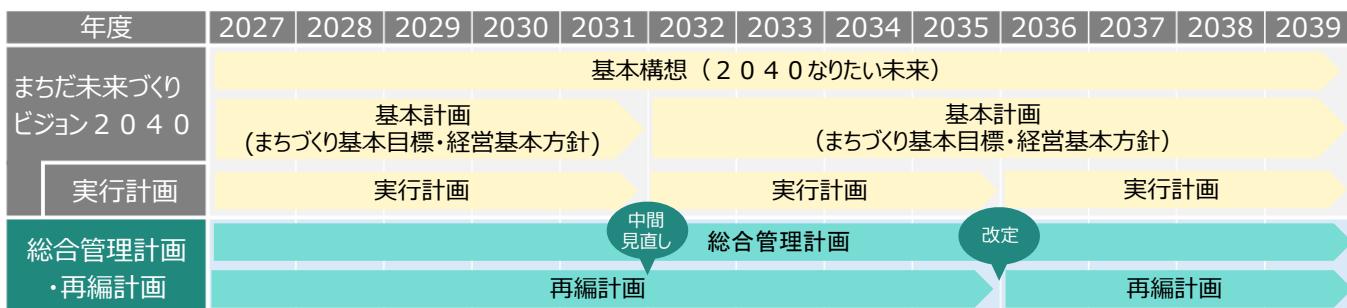
公共施設の再編を推進しています。

2 計画の概要

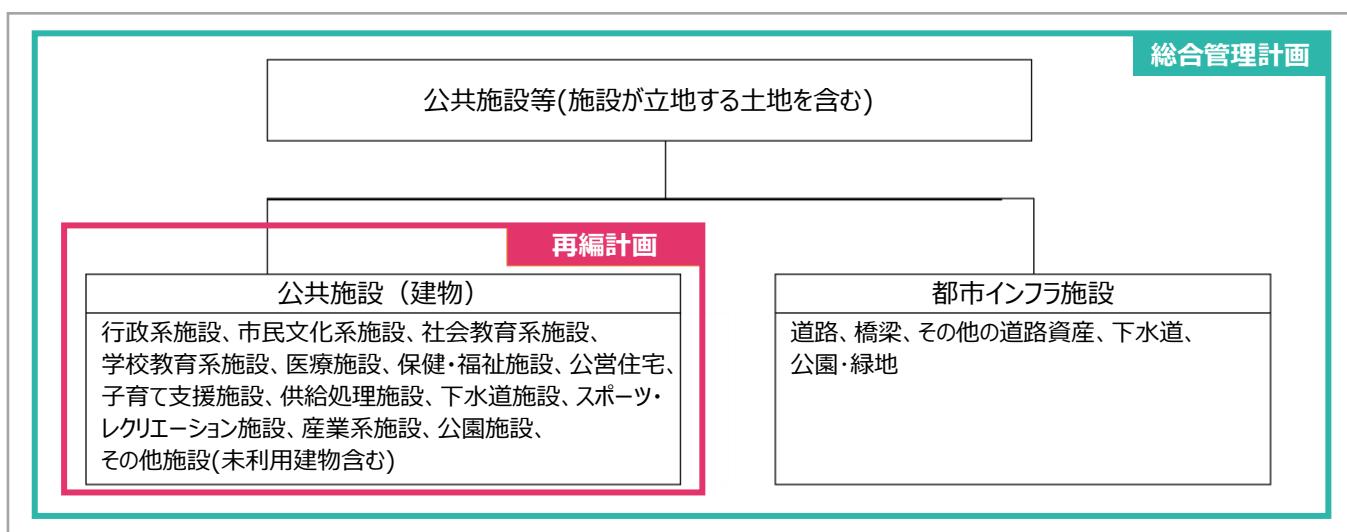
(1) 計画の目的

町田市公共施設等総合管理計画（基本計画） (以下、「総合管理計画」という。)	財政状況が厳しさを増す中でも、必要な公共サービスを維持または向上させていくために、 公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うための基本的な方針を示すこととする。
みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画(以下、「再編計画」という。)	総合管理計画に基づく 公共施設再編の取組を着実かつ計画的に推進することを目的 とする。

(2) 計画期間



(3) 対象施設

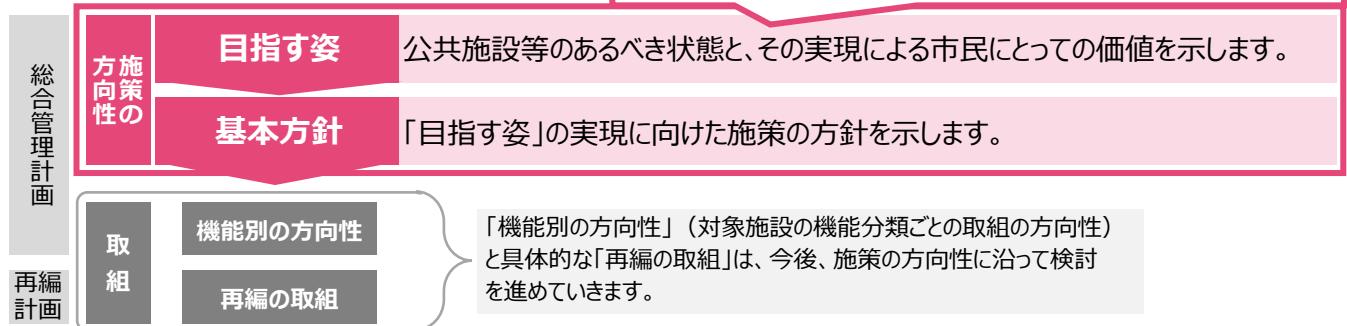


町田市の**公共施設**の総延床面積は約 98 万m²！ その約半分が小・中学校だよ💡
そのほか、市民センターや図書館、総合体育館など、生活に身近な**公共施設**、
公園、道路などの**都市インフラ施設**が対象だよ💡



(4) 計画の構成

この度、施策の方向性(目指す姿、基本方針等)を取りまとめました



3 目指す姿

「安全で持続可能な“基盤”」と「新たな価値を生み出す“場”」を「目指す姿」とし、その実現を目指します。

安全で持続可能な“基盤”

公共施設等のあるべき状態

- 将来的な人口・財政状況の変化等を見据え、**適正規模・適正配置**が実現できている
- 急激な社会・経済の変化の中でも、**柔軟かつ機動的**に見直し・改善等を行ながら、**適切に更新・維持管理**等ができている
- DX 等によるサービスの変革を踏まえ、**効率的に機能配置・サービス提供**できている

市民にとっての価値

将来の町田で活躍する世代に負担を先送りすることなく、誰もが安心して安全に利用することができている

- 「ゼロカーボンシティまちだ」の実現に向けて、**環境に配慮**して管理運営できている
- 誰にとっても分かりやすく使いやすいよう< b>バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化されている

誰もが快適に利用できている

新たな価値を生み出す“場”

公共施設等のあるべき状態

- 町田駅周辺再開発等のまちづくりとの連動や、戦略的な選択と集中により、“**町田に行ってみよう**”と思ってもらえるような**交流、体験、にぎわい**といった**魅力を生み出している**

市民にとっての価値

そこに行かないと体験できない都市的な活動を楽しむことができている

- 公共施設のあり方見直しや、再編・整備、再編により生み出された新たな空間の活用等にあたり、民間事業者のノウハウ・活力や先進技術を効果的に導入することで、**時代にあわせて**柔軟にあり方を変えながら**新たな価値・サービスを提供**している

便利さや楽しさなど、多様なまちの魅力を感じながら暮らすことができている

- 多様化・複雑化するニーズに対応した**フレキシブルな空間**にすることで、市民や地域団体等が気軽に利用でき、**活動、交流、つながりを生み出している**

地域コミュニティの拠点を中心として新たなつながりが生まれ、そうした中で安心して豊かに暮らすことができている

- 行政だけでなく多様な主体とともに考えつくりあげていくことで、学校等の**身近な公共施設が温かな地域コミュニティの拠点**として、居場所や地域活動の場、地域防災などの機能を担い、そこにあることで**ホッとできる“よりどころ”**になっている

4 基本方針

現行計画の振り返り等の現状分析から課題を抽出し、「目指す姿」の実現に向けた「基本方針」を、公共施設について5つ、都市インフラ施設について2つにまとめました。

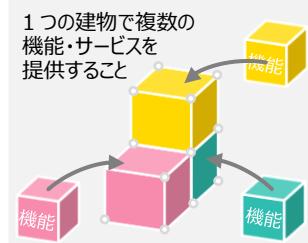
公共施設に関する基本方針

1 安全・安心と公平性の確保

- **安全・安心の確保を最優先とした管理**を推進。
- 更新、新設時等に**ユニバーサルデザイン化**を推進。

2 規模・配置の適正化

- 身近な公共施設について、多様なニーズにあわせて柔軟に利用できるよう、**多機能化・複合化等**を積極的に推進し**地域の拠点**に。
- **まちづくりと連動した適正配置**を推進。
- **DXによるサービスデザイン変革**等を踏まえ、施設**規模や配置を見直す**とともに、時代にあわせた**新たな価値・サービスの提供**を推進。
- **原則として廃止を伴わない新設を実施せず**、施設総量を圧縮。



3 保全・更新の合理化

- 施設の特性等に応じて、今後も継続して**維持していく建物**と継続した**維持を想定しない建物**に分類。
- 維持していく建物は、改修等の**優先順位**を定め、**財政見通しと連動した計画的な更新**を推進。
- **長寿命化**など既存資源の効果的な活用を推進。

4 維持管理・運営の最適化

- 行政主導の画一的なサービスのあり方を見直し、地域に関わる**多様な主体との連携や支援**を推進。
- **事業者や国・都・周辺自治体等との連携**を推進。
- **経営的視点**に立ち、あらゆる技術・手法による**維持管理費の削減**を推進。
- 施設管理に関わる**温室効果ガス削減**を推進。

5 既存資源の有効活用と財源確保

- 再編により生み出した空間・建物等について、**処分・貸付を含めた積極的かつ戦略的な活用**を推進。
- ネーミングライツ、有料広告等、あらゆる手法による**財源確保**を推進。

都市インフラ施設に関する基本方針

1 安全・安心の確保を最優先とした管理

- **安全・安心の確保を最優先とした管理**を推進。
- 更新、新設時等に**ユニバーサルデザイン化**を推進。

2 保全・更新の徹底した効率化と財政負担の平準化

- **長寿命化**や**民間活力**の導入、他自治体等との連携などにより、**財政負担の軽減や平準化**を推進。
- **省エネルギー化**や、**景観との調和、まちづくりと連動**した機能配置を推進。

5 計画の推進

計画の推進は、市だけでなく、市民、事業者等の多様な主体との連携により、進めていくことが不可欠です。

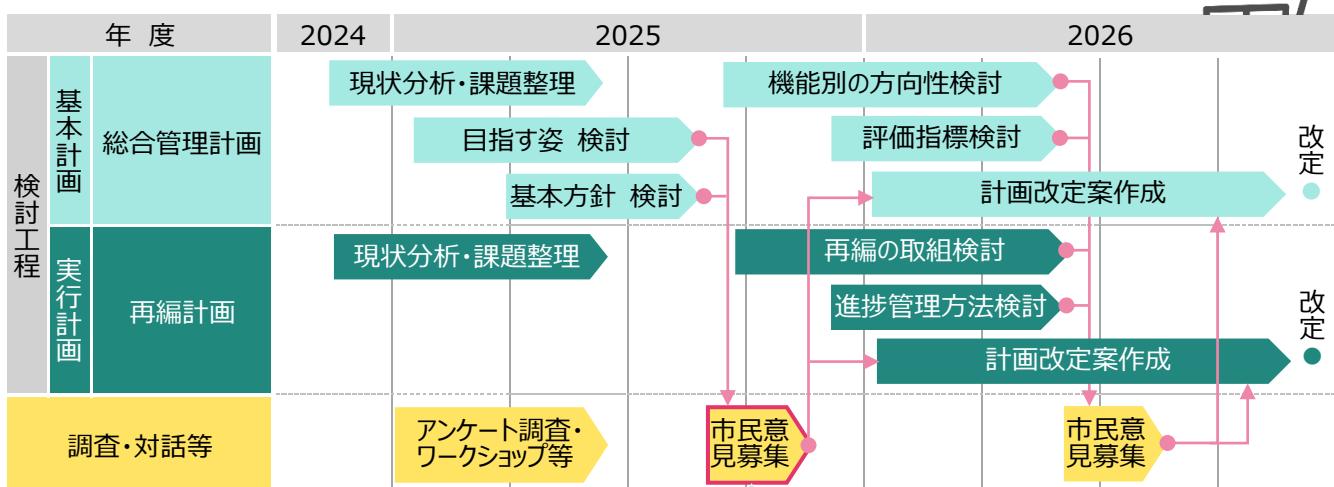
市は、公共施設等の「目指す姿」を市民・事業者等と共有したうえで、市民参加型ワークショップ、アンケート調査、説明会、意見募集など、様々な手法を通して、公共施設・公共空間のより良いかたちを市民・事業者等と共に考え、公共施設等マネジメントの取組を推進していきます。

府内の推進体制としては、町田市公共施設等マネジメント委員会において、企画部門、財務部門、営繕・管財部門、施設所管部署といった関係部署の部門横断的な連携を図りながら、公共施設等マネジメントの取組を推進していきます。



6 計画改定の工程

いただいたご意見は
計画改定にあたり
参考とさせていただきます



改定の方向性(目指す姿、基本方針等)について、ぜひ市民の皆さまの
ご意見をお寄せください！

ご意見の例

- 公共施設・公共空間が、こうなると良いと思う！
- 公共施設・公共空間のより良いかたちの実現に向けて、こうすべきと思う！
- 町田市の進める公共施設の再編などの取組について、こう思う！
- 町田市の公共施設を利用して、こう思う！ などなど…

💡 改定の方向性の詳細は、市ホームページをご覧ください。

💡 ご意見の提出はこちらから。
(ウェブフォームでの提出)



* * * * * ご意見記入用紙 * * * * *

【ご意見記入欄】

キントリ線

(裏面)